

授業者も参加者も創る!!高まる!!広げる!!

西部の国語科の未来へバトンをつなぐ



国語科授業づくり講座
【宿毛市立宿毛小学校】
教材研究会：9月20日(水)
授業研究会：10月31日(火)

令和5年12月発行
西部教育事務所



西部管内の
講座関係
HP

学 年：第5学年

単 元 名：よりよい宿毛小にするために、友だちや先生に提案しよう

教 材 名：「反対の立場を考えて意見文を書こう」(東京書籍5年)

言語活動：事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動

授業者 5年B組担任
長谷川 幹太 教諭



育成を目指す資質・能力が身に付いた児童の姿を描く

授業で大切なことは、児童に力を付けることです。そのために授業者は、育成を目指す資質・能力が身に付いたか、評価しなければなりません。評価については、事前に育成を目指す資質・能力が身に付いた児童の具体的な姿を描いておくことが重要です。そのことが、学習活動や発問、手立てを考えることにつながります。

教材研究会

(第5学年及び第6学年)
思考力、判断力、表現力等 B 書くこと
イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。



②筋道の通った文章となるためには、単元計画の3、4時をどのように展開するとよいか。

- ◇文章構成を考えるために教科書を見せない。
- ◇いろいろな型(頭括型、双括型、尾括型)を提示する。
- ◇枠を提示せずフリーで考えさせる。
- ◇付箋を用いて並び替えて考えさせる。

◇反対意見やそれへの対応を取り入れることで、自分の考えが伝わるという実感を得られるようBADモデルやGOODモデルを示して比較させる。
◇予想される反対意見を考えるとどこが難しいところであるため、グループで考えたり違うグループの人を入れたりして考える、質問をしてもらう。

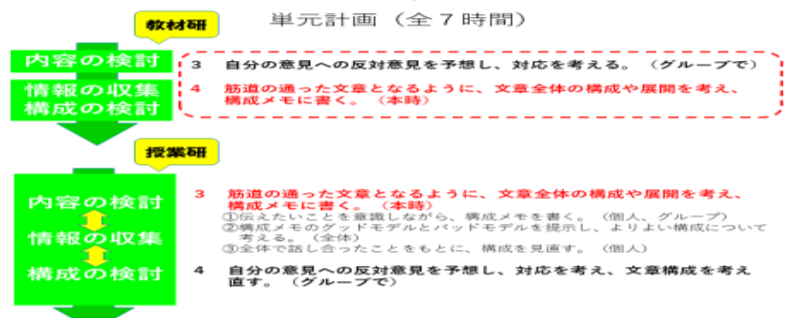
協議の視点

①「B 概ね満足できる状況」を達成した児童の姿とは、どのような姿か。

②評価規準「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。」
→筋道の通った文章となるためには、単元計画の3、4時をどのように展開するとよいか。

①「B 概ね満足できる状況」を達成した児童の姿とは

- ・自分の考えを分かりやすくするために構成(論の順番)を考えている。
- ・相手の言ったことに対応する考えを選んでいる。
- ・序論、本論、結論の構成で、自分なりに意図をもって事由を挙げている。
- ・相手に分かりやすく伝えるように、自分の意見とその理由、反対意見とその対応が首尾一貫した主張となるような構成を考えている。
- ・意見、理由、反対意見をどの順番で述べるか順序を考えている。
- ・意見が最後まで合っているか確かめている。



【本時の目標】3/7時間
筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。
【評価規準】B(1)イ
「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。

【B概ね満足できる状況】
構成メモを、序論・本論・結論に分け、自分の意見と理由、それに対する反対意見とその対応を順序立てて書いている。
・自分の考えを分かりやすくするために構成(論の順番)を考えている。
・意見が最後まで一貫しているか確かめている。
・相手に分かりやすく伝えるように、自分の意見とその理由、反対意見とその対応が首尾一貫したものになるような構成を考えている。
・意見、理由、反対意見など自分が伝えたいことに合わせた順序にしている。
・反対意見の必要性を考え、構成を考え直している。

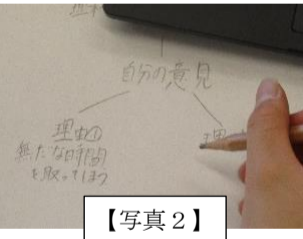
「教える、そろえる」指導から、「気付かせる、任せる」指導に

- ・構成メモを書く場面では、クラス全員がジャムボードを使うのではなく、紙媒体の構成メモを使いたい児童は紙媒体で考えることができるように児童に選択させた。また、ジャムボードの付箋の色分けなどは児童に任せ、「始め-中-終わり」の構成や内容の順序などについて考えたことを付箋の色や位置で自分の考えを表現するようにした。【写真1、2】
- ・教材研究会を受けて、二つのモデルを提示し、比較させることで「反対の意見とその対応」を書き入れるよさに気付くようにした。【指導の工夫①】

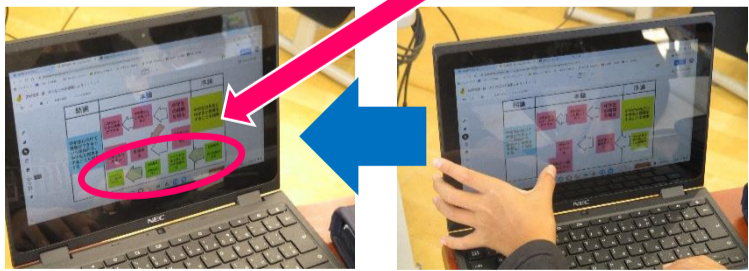
授業研究会



【写真1】



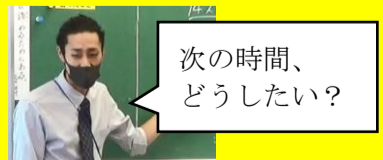
【写真2】



【指導の工夫①】
二つのモデルの構成メモを提示した。その後、一人一人の児童が見やすいように児童のタブレットに2つのモデルの構成メモと意見文を送信した。二つのモデルの比較を通して、反対意見とその対応の効果、よさに児童が気付くための手立てとなった。

付箋の位置や色、矢印などで文章の構成や展開について自分の考えを表現している。(思考の可視化)

【指導の工夫②】
反対意見とその対応を意見文に加えることの価値を自覚し、実際に自分の意見文に取り入れることができるか試し、そこから見えた困り感や疑問を全体で共有し、次時につなげた。



同じグループの友達と想定される反対意見を出し合いたい!



グループになって、実際に反対意見を聞いてそこから考えたい!

《参会者の感想(授業研究会)》

- ・学習評価については、自分自身曖昧な部分もあったため、学校の教員同士で検討したり、情報共有したりするなどして、自身の力量向上を図っていきたい。
- ・教えるだけの指導ではなく、児童に気付かせることや児童に任せて児童主体の授業を行うことの大切さに気付きました。